

会議名	第3回港区三光学童クラブ運営事業候補者選考委員会
開催日時	令和元年11月18日(月) 18時から19時30分まで
開催場所	高輪地区総合支所4階会議室
委員	出席者 5名 阿部委員、秋山委員、岩崎委員、野澤委員、野上委員
事務局	高輪地区総合支所管理課 佐藤課長、施設運営担当 永吉、出口
傍聴者	なし
会議次第	1 開会 2 議題審議 議題1 第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング)について 議題2 運営事業者候補者の決定について 3 閉会
配付資料	[席上配布] 資料1 第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)方法について 資料2 第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)表 資料3 第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)評価用メモ 資料4 第一次審査集計表

会議の結果及び主要な発言

事務局	1 開会 事務局より本日のスケジュールについて説明 2 議題審議 議題1 第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング)について (事業者Aによるプレゼンテーション実施)
委員長	それでは、これからヒアリングに入ります。限られた時間ですので、質問への回答は簡潔明瞭をお願いいたします。
委員A	運営提案書を拝見すると、地域資源をととても把握していると感じました。様々な施設、例えば保育園、幼稚園などとの連携について、必要性を感じている点、今後の連携のとり方などをお聞かせください。
A事業者	保育園や幼稚園との交流の目的として、まずは児童の出身園に行くことにより、児童が成長した姿を見てもらいます。同時に、児童自身が様々なことができるようになったという実感や自己肯定感を持てるよう、児童ができるようになったことを園で発表し、また、年長の子供と交流の中で、児童が、学童クラブ

	<p>や小学校で学んだことを伝えます。保育園、幼稚園の子供たちには、小学生になると様々なことができるようになること、学童クラブについて知ってもらう機会とします。</p>
委員B	<p>今まで施設長をする中で一番困難を感じたこと、またその経験を踏まえ、この施設ではどのように運営したいか、その2点をお聞かせください。</p>
A事業者	<p>先日、ある児童の母親から、父親からDVを受けているという相談を受けました。母親からの依頼で職場の携帯電話を教え、緊急対応などできる限り支援します。子ども家庭支援センターにも相談し、様々な関係機関につなげようとしてはいますが、家庭内までは入っていけないため、支援にも限界があることが悩みです。子供が学童クラブに来たときには話を聞くことはできるし、母親の話も聞くこともできます。しかし、このような事態において、家庭のことに学童クラブの職員がどこまで関わられるのかとが、私の今の課題だと思います。</p>
委員C	<p>施設長としての経験は、何年ぐらいありますか。</p>
A事業者	<p>江東区で児童館の責任者を1年、港区の学童クラブでは3年目になります。</p>
委員C	<p>地域によって、子供たちの様子は違いますか。</p>
A事業者	<p>江東区の豊洲は、様々な地域から子供たちが集まっており、比較的港区と子供たちが似ていると感じます。白金の地域は、古くから住んでいる方も多く、古くから住んでいる方と新しい子供たちの融合とが、豊洲との違いだと思います。</p>
委員C	<p>事業提案書の中に、高学年タイムという記載があります。高学年になると中学生を見据えて、社会や化学や様々なことへの芽生えが進んでくる時期です。高学年という年齢をどのようにとらえますか。</p>
A事業者	<p>学童クラブは低学年が多いため、高学年には低学年にあわせて遊んでほしいと伝えることが多いです。子供会議を開き、高学年が興味を持っていることや学童クラブでやりたいこと、中学生に向けて、子供たちがしたいことや感じていることを一緒に考えて、活動する時間を作ります。学童クラブには、1年生から6年生までいるため、高学年の時間を特別に作り、興味のあることを行い、低学年に遠慮せずに全力で遊べる、高学年にとって充実した時間を提供したいと思います。</p>
委員D	<p>学校との関係がとても大切と考えているようですが、学童クラブに所属する子供と所属しない子供が両方いるため、難しいときがあると思います。当然学童クラブに所属する子たちをメインで関わるのですが、地域の中に学童クラブに属す子供と属さない子供がいる中で、難しさを感じたことはありますか。</p>
A事業者	<p>学童クラブに所属する子であれば、学校などと連携が取れますが、学童クラブに興味を持っているものの、学童クラブに所属していない子供とは関わりを持たせません。私たちが学童クラブの子供を連れて公園に遊びに行くと、所属していない子供も遊びたい雰囲気になるので、その時には家の場所や名前を聞いた上で一緒にゲームに入れてあげることもあります。しかし、その子に責任が持てないため、そこが難しいと感じます。もし、5時、6時以降まで公園にいる子がいたら、よく学童クラブの子供と一緒に遊んでいる子供がいること、夜遅くまでいるため配慮していただきたい、という情報を学校に報告しています。</p>
委員D	<p>先ほど出たDVのお話は特殊なケースですが、日常の話を聞きます。子供が</p>

A事業者	<p>大きくなってきたときに、本人とのやりとりだけでなく、親御さんとの連絡ややりとりで工夫していることを教えてください。</p> <p>高学年になると自分から話さなくなります。遊びのなか、生活の場で、例えば、漫画を読んでいるときに話しかけると、話をしてくれる子がいます。聞き取りの中で気になる発言があったら、父親や母親に伝えます。内容を私から聞いたことにしないよう、家庭では「このようなことがあったらしいね」のように聞いてもらい、子供との会話を増やしてもらいます。学童クラブや学校での生活の様子が、父親母親に少しでも伝わればいいなと思ってやり取りをしています。</p>
委員D	<p>職員の体制で、常勤7人、非常勤3人とありますが、常勤の男女比と年齢構成を教えてください。</p>
A事業者	<p>私以外の6人は、30代男性1人、30代女性1人、20代男性2人、20代女性2人を想定しています。</p>
委員D	<p>施設長代行はどのような経歴、経験の方ですか。</p>
A事業者	<p>今30歳での男性です。始めは保育園の職員をし、その後児童館・学童クラブの職員として7年目です。</p>
委員E	<p>広い面積で人数が常勤7人非常勤3人の10人体制ですが、シフト制だと思いますので、常時何人ぐらいいますか。また、目が行き届くかどうか、過不足を感じるがあれば教えてください。</p>
A事業者	<p>教室が三つに多目的室が基本的な場所ですけど、体育館等も使えます。日頃はクラス単位で、体育館で遊ぶ時間としますが、人手が足りないときは、クラスを超えて広い体育館で集団遊びをさせてもらったりして、カバーしていこうと思います。また法人本部にも放課後支援員の資格を持つ職員がいるので、施設職員に急病人などが出た場合は、ヘルプに入ることができます。</p>
委員E	<p>最後に法人の離職率、職員の定着の状況は、どのような状況か教えてください。</p>
A事業者	<p>正確な数字は本日準備していないため、出せませんが、当法人では子育ての仕事以外に、他の福祉の仕事も含めて様々な業務をおり、もし向かない業務だったら、別の職種に異動するなど、法人全体の離職率はそれほど高くはないと思います。また、当法人の子育て以外の仕事の経験を積んでから子育ての仕事に就く方、当法人に入ってから保育士の資格を取得するケースもあります。様々な形で、全体的にはカバーできていると思います。現場との相性もありますが、当法人で都内に99ヶ所程度、子育ての現場があるので、合わない現場の場合は、他の現場に異動するなど、働き続けることができる環境づくりをしています。</p>
委員B	<p>子供同士のトラブル、例えば、わざとではないものの、飛ばした紙飛行機が、目の近くに当たり、被害者の親からクレームが来た場合、どのような対応をされますか。</p>
A事業者	<p>現場にいた職員、本人に状況を確認した上で、その児童が故意ではないとわかれば、保護者には、故意ではなかったこと、子供は素直に謝ったことを伝えた上で謝罪します。被害者の保護者がどのように謝罪して欲しいかを確認し、私が間に入り謝罪の場を設けます。子供が認めないときもありますが、怪我をさせるつもりはなかったことに対して理解を示し、「してしまったことは</p>

<p>委員長</p>	<p>すぐに謝った方がよかったよね」などを伝えると、子供は理解します。毎日の生活の中での職員と児童との距離感もありますが、話しやすい距離感を保ちながら日々児童と接したいと思っています。</p> <p>なお、学童クラブで起きた事故は、まず管理上の責任として運営側に責任があることをご理解いただいた上で、冷静に話し合えるような環境を設定し、対応しております。</p> <p>それでは、時間となりましたので、プレゼンテーション及び質疑を終了いたします。</p> <p>(A事業者退席)</p> <p>(B事業者によるプレゼンテーション実施)</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、これからヒアリングに入ります。限られた時間ですので質問への回答は簡潔明瞭にお願いいたします。</p>
<p>委員A</p>	<p>港区三光学童クラブ周辺の地域性、施設の特性をどう生かした事業を計画しますか。地域性を重視したものを教えてください。</p>
<p>B事業者</p>	<p>白金地区は、昔から住んでいる方々が多くいる一方、新しい方も多く流入しているエリアです。法人の職員で白金地区に昔からの住民にヒアリングをしたところ、本来はもっと地域の方が学童クラブに参画できてもいいと思うのだが、正直学童クラブの存在があまりわからないと聞きました。それを踏まえ、我々は、もっと開いた学童クラブに挑戦したいと思ったのですが、地域性について勉強不足なのか、若干見えない状態でした。施設特性としては様々な児童がいることだと思います。施設を見学したときには子供がいない状況でしたが、白金の丘小学校に訪問した際に、外国籍、様々な文化を持った児童がいると思いました。施設長候補者が現在担当する施設でも似通っているため、子供たちと一緒に文化を知るという活動をしています。外国籍の子供の出身国をみんなで見学取り組みを港区三光学童クラブでもできるかについて皆で話し合いました。</p>
<p>委員B</p>	<p>これまで学童クラブ事業を運営する中で一番困難を感じたことと、それを踏まえて港区三光学童クラブでどう活動したいかの2点をお聞かせください。</p>
<p>B事業者</p>	<p>施設の運営を他から引き継いだ時に、前から施設にいるスタッフは引き続き、一緒に働くことになったのですが、前からのやり方と新しく私共が提案したやり方をすり合わせるため、丁寧にコミュニケーションを取り、理解していただきながら、運営したことがとても大変でした。</p>
<p>委員C</p>	<p>施設長候補者の、学童クラブの施設長の経験は何年ですか。</p>
<p>B事業者</p>	<p>施設長としては4年です。</p>
<p>委員C</p>	<p>難しいことは何ですか。</p>
<p>B事業者</p>	<p>児童が多く、その分保護者が多いため、保護者一人ひとりの理解を得ることと、スタッフも多いので、スタッフ同士の情報共有です。もちろん、スタッフがたくさんいることで、1人の児童を多面的多角的なところから見るができるというメリットもあります。しかし、スタッフには個々の考えもあるため、どの程度の幅をもって皆で支援するか、どこまで同じ方向を向いて支援できる</p>

<p>委員C</p>	<p>かを、コミュニケーションをとることが、とても大変です。</p> <p>高学年に対するプログラムが、やや物足りないような気がします。低学年、中学年、高学年それぞれに発達課題があるので、そのような意味での魅力性、子供の好奇心を掴むようなプログラムを考えていますか。</p>
<p>B事業者</p>	<p>今担当する施設では、5・6年生がいないのですが、同じ敷地の中にある放課後子供教室には5・6年生も来ています。1年生と6年生はとても発達の差があるので全員が楽しめるイベントをすることはとても難しいです。そのため、高学年が楽しめるもの、低学年が楽しめるものと、区分けをしています。スタッフ皆で知恵を出し合いながら、全学年が楽しめることを考えているのが現状ですが、なかなか難しい課題だと思います。</p>
<p>委員D</p>	<p>学校は、学童クラブと同じく集団生活で、規則的に規律をもって時間を過ごしますが、放課後に学童クラブに移ると、学校とは違い規則、規律からは外れる、集団ではあるものの、団体行動ではなくなります。40人のグループを構成するとおっしゃいましたが、年齢が上がった子供たちの集団を日常的に見るのは、結構難しいと思うのですが、コツがあったら教えてください。</p>
<p>B事業者</p>	<p>なにより子供と信頼関係を築くことです。学校の場合、1対40の信頼関係だと思いますが、学童クラブの場合は1対1の信頼関係を40通り作ってくださいと担任に言っています。クラスにまたがって遊ぶ時間を多く作るので、スタッフ10人がそれぞれ160人の子供と接する環境を作ります。子供も10通りの信頼関係から選ぶことができます。例えば注意したときに、素直に聞いてもらえるかどうか、信頼関係の有無によります。そのため、大きくなればなるほど、信頼関係がとても大事になると思うので、子供たちが信頼関係を結べる環境を作っています。</p>
<p>委員D</p>	<p>知育についてどのように、お考えですか。</p>
<p>B事業者</p>	<p>学習は学習として大切ですが、遊びなど、一生懸命やる事の中から学ぶ機会はとても大事だと思います。学習時間は設定していますが、その他の生活の中から学ぶ、遊びの中から学ぶという知育も大切です。人とのコミュニケーション、人に対する思いやりなどを児童自身の中で大事なものにしてほしいという気持ちで丁寧に支援しています。</p>
<p>委員E</p>	<p>職員配置で常勤9名、非常勤が4名とあります。年齢構成、男女比の想定を教えてください。</p>
<p>B事業者</p>	<p>現在当法人で運営する学童クラブでは必ず20代から60代までを配置することを徹底しています。様々な信頼関係を作るために、様々な年代を置きたいと思っています。女性と男性もバランスよく、各年代に2人ずつ程度の9人を人選しております。</p>
<p>委員E</p>	<p>区の児童館の非常勤職員は、人を集めることが難しいのですが、御社の場合、特に非常勤雇用は希望に沿って採用できているのか、それともご苦労されているか教えてください。</p>
<p>B事業者</p>	<p>当社も拠点数が多いところなど、エリアによっては非常勤職員が採用しにくい状況が増えています。既存の受託施設とは異なるエリア、新規の自治体で運営を受託する場合には、非常勤職員を確保できている状況です。</p>
<p>委員B</p>	<p>子供同士のトラブル、例えば、わざとではないものの、飛ばした紙飛行機が、目の近くに当たり、被害者の親からクレームが来た場合、どのような対応をさ</p>

B事業者	<p>れますか。</p> <p>加害者側、被害者側両方の児童の保護者に丁寧に事情を説明します。保護者にお話をする時点には、小さなけが程度の場合は、子供たち同士では申し訳なかった、間違えてしてしまった、という話をついた状況にします。あとは、施設内のことなので、加害児童の責任ではなくて、私達に過失があった、私たちが止められなかったという、私たちの責任も丁寧に謝罪をしております。加害者側、被害者両方の親にも丁寧に謝罪します。</p>
委員長	<p>それでは、時間となりましたので、プレゼンテーション及び質疑を終了いたします。</p> <p>(事業者B退席)</p> <p>(採点・休憩)</p>
事務局	<p>【議題2 指定管理者候補者の決定について】</p> <p>採点集計結果について説明</p>
委員長	<p>各委員の皆様から講評をお願いし、内容を審議します。</p> <p>なお、運営事業候補者の選考理由を明確にするため、評価については出来るだけ具体的をお願いします。また、次点者についてもあわせてご意見いただければと思います。</p>
委員A	<p>A事業者は、具体的な施設特性を生かした提案書で、ヒアリング・質疑応答についても、提案に関する具体例を説明されており、そのイメージができていたと感じました。</p> <p>B事業者は、施設・地域の特性へのとらえ方がまだ少し浅いと感じました。具体的な活動などのイメージが提案として伝わってきませんでした。地域の資源をもっと活用すべきであるにもかかわらず、その資源のとらえ方が少し曖昧と感じました。施設の使い方などに関する提案のように、細やかな提案もされていましたが、実際今日のヒアリング等で全体的なプログラムの提案が惜しいと感じました。児童の安全確保についても、少し曖昧であると感じました。</p>
委員B	<p>A事業者は、基本的に1次審査の内容以上の説明はなかったため、1次審査の点に基づいて採点をしました。</p> <p>B事業者は、質問に対して、主に運営主体の変更の話になっていました。もう少し子供や、保護者との関わりの中で困難を感じた話が出てきたらよかったのですが、特に減点しませんでした。施設環境面、上下足の色分け、棚の名札付けなど細かい配慮はよいと感じましたが、1次審査の時と内容的には変わりなかったので、同様に採点をしました。</p>
委員D	<p>A事業者は、施設長候補者が、地元育ちで地元で密着しているため、圧倒的な情報量を持っていました。最近地元の説明会を行った、旧神応小学校の情報も、素早くキャッチしていることに感心しました。運営でも、子供たちの帰り時間の色分けをし、帰るときの時間のトラブルが起こらないよう細かい工夫もしています。安心できる事業所という印象を持ちました。</p> <p>B事業者につきましては、情熱はとても感じますが情報量の点では、A事業</p>

委員E	<p>者と差があると思いました。ただ、施設長候補者は比較的大きなところで経験を積み、ポリシーも持っていました。施設長候補者に対してはA・B事業者ともに安心感があるという印象を持ちました。しかし、事故防止策は、通り一遍の話をされていると思いました。これは、チームとしての経験の差なのか、実は運営が問題なく、大きなトラブルがなかったのかどちらかわかりませんが、事故対策に対してはやや不足している印象を持ちました。</p> <p>私もA事業者には、施設長候補者の情熱的、意欲的な点で高く評価しました。また、話がすべて子供中心の視点でした。児童福祉施設なのでその点を評価しました。</p> <p>B事業者は、A事業者と比べ、管理面が強いと感じました。ある委員が施設長として困難に感じた点を問われたときに、A事業者はDVの話をし、B事業者は引き継ぎが困難だったという話をしました。引き継ぎの話は運営のことで、学童クラブは子供のための施設のため、まずは子供の事例を挙げて欲しいと思いました。</p> <p>見積書を拝見すると、B事業者が社員の配置が多く、配置はいいと思いましたが、人件費を見ると、施設長候補者の給与がA・B事業者で100万円程度違いがあり、B事業者の給与処遇が心配に思いました。</p> <p>以上を総合的に勘案し、B事業者とA事業者に差がつかしました。</p>
委員C	<p>A事業者は、話の内容に非常に具体性があり。施設長としての経験だけではなく、子供との関わりが生き生きと伝わる点を非常に評価いたしました。また、保護者との連携については、体制づくりまでは聞けませんでした。どこの業者でも同じですが、人材の確保には少し不安が残ります。</p> <p>B事業者は、様々な環境の工夫をされており、自律的に子供が動けるようになる環境作りは大事ですが、この発想は小学校低学年のイメージで、高学年の子供のイメージが不足しているように見えました。よりダイナミックに子供を受けとめつつ、子供と一緒に動くというイメージがほしいと思いました。施設長候補者は、しっかりした方でしたが、説明的な対応のように見え、腕白盛りの元気な子供たちへの対応について、少し心配になります。給料の点で、人材確保・定着に非常に不安感を持ちました。今言ったように保育者目線が強いような気がしたためかなりのB事業者はA事業者に比べ低い点にしました。</p>
委員長	<p>点数の修正はございますか。</p>
委員C	<p>A事業者、④安全対策・危機管理を15点から20点に修正します。</p>
委員A	<p>B事業者、①学童クラブ事業運営に対する視点を25点から20点に修正します。</p>
事務局	<p>それでは、第一次審査・第二次審査合計点数及び順位を発表します。</p> <p>【A事業者】 第一次審査 795点 第二次審査 420点 合計点 1215点</p> <p>【B事業者】 第一次審査 725点 第二次審査 355点 合計点 1080点</p>
委員長	<p>港区三光学童クラブ運営事業候補者は1位のA事業者でよろしいでしょうか。また、第1回の委員会で確認した通り、今回決定した候補者に何らかの事情があり資格を喪失した場合、次点、2位のB事業者が繰り上がって運営事業候補者とするのでよろしいでしょうか。</p>

委員一同
委員長

(承諾)

それでは、当委員会として、港区三光学童クラブ運営事業候補者をA事業者と決定します。

3 閉会